

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 408

事務事業名	歴史観光立市推進事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	古賀 ゆかり	内線	241

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040402	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光客受入体制の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費
事業コード	020200	歴史観光立市推進事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 観光客、観光関連団体及び事業者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 「歴史を活かした観光交流都市『おおむら』」を実現するために計画的に事業を推進する。 ・個性あふれる魅力的な観光地づくり ・多様なニーズに対応した観光地の魅力づくり ・市民参加の観光まちづくり ・観光基盤の整備促進		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 「歴史を活かした観光振興計画」に基づき、観光客誘致事業を展開する。 ・情報発信、観光PR ・歴史を活かした商品企画の促進 ・歴史を活かした観光イベントの開催 ・修学旅行による宿泊の誘致 ・広域的な連携による事業推進		
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市商工観光振興事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 歴史観光案内人数	計画値	30	30	30	30		
		実績値	30	27	30			
	② おおむら歴史観光ボランティアガイドの会会員数	達成度	%	100.0%	90.0%	100.0%		
		計画値	件	200	200	200		200
成果指標	① 観光客数	計画値	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,428,000		
		実績値	1,102,800	1,193,801	1,139,453			
	② ホームページアクセス件数	達成度	%	102.1%	110.5%	105.5%		
		計画値	件	250,000	250,000	250,000		250,000
② 大村観光ナビ	実績値	件	262,907	324,323	419,102			
	達成度	%	105.2%	129.7%	167.6%			

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	7,267	8,489	7,092	7,452	8,734	8,734	8,734	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	2,209	2,050	1,550	1,189	2,387	2,387	2,387	
一般財源	5,058	6,439	5,542	6,263	6,347	6,347	6,347	
② 人件費(千円)	16,274	12,660	10,774	12,487	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	2.00	1.65	1.50	1.55	歴史を活かした観光振興計画に基づく観光客誘致事業を展開する。	歴史を活かした観光振興計画に基づく観光客誘致事業を展開する。	歴史を活かした観光振興計画に基づく観光客誘致事業を展開する。	
時間外勤務(時間)	190	95.7	97	145				
嘱託等人数(人)				0.50				
フルコスト(①+②千円)	23,541	21,149	17,866	19,939				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	大村の歴史や自然を活用した歴史観光の推進事業に取り組んだ。 ①市内観光周遊バス及び定点観光案内事業等によるボランティアガイドの活動により、観光客の利用促進を図った。 ②夜型イベント「大村城下町灯籠まつり」と「夕暮れさくら」の開催による観光客の誘致を図った。 ③各種の媒体、方法により大村市観光のPRを行った。 ④JR九州によるスイーツ列車の運行や、シュガーロードにまつわるイベントなどで観光PR・広域連携を図った。 ⑤H27年度にガイド養成講座(参加者14名)を実施し、5名の新規会員の加入があった。
事業が抱える問題・課題等	事業実施により、効率的で有効に経済効果につなげるには、中心的な役割を担う観光コンベンション協会の体制の充実と観光関連事業者・団体等との連携が必要である。また、ボランティアガイドの要請の増加に伴い、ガイドの会の人材育成(ガイドのスキルアップ)が必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	これまで大村の豊かな自然と、大村純忠や天正遣欧少年使節をはじめとした多くの歴史遺産を活かし、多様な観光ルート・メニューの開発整備や情報発信を行い、一定のPR効果があった。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	「観光交流都市づくり計画」に基づいて、事業の振興を図り、観光客の誘致・増加による経済の活性化につなげることに部分的に市が関与するのは妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	魅力ある観光地を目指して、観光事業関連団体・事業者・市民・行政・まちづくり団体が構成する「歴史を活かしたまちづくり戦略協議会」と連携した事業推進により、成果は上がっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	観光関連団体や事業者、市民が観光振興に対する共通認識と協力関係を創り、連携した誘致活動やイベント開催を行うことでコストの削減に努める。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	効率的な事業実施により、有効に経済効果につなげるため、中心的な役割を担う観光コンベンション協会の体制の充実と観光関連事業者・団体と連携強化に努める。また、ガイドの会の人材育成を行うため、英会話やキリスト教の歴史について研修を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。